

## 弘前学院大学社会福祉学部専任教員 2019年度の研究業績\*

\*：以下においては、2020年度現在の本学部専任教員が2019年度（2019年4月～2020年3月）に発刊・発表した研究業績（但し、編著書、学術論文、口頭発表のみ）を掲載する。掲載内容は各自の自己申告に基づく。また、掲載の順は五十音順である。

大野 拓哉（教授）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 社会的排除の諸相 ——ある母子心中事件を通して 見る現代の貧困——	単著	2020年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第20号1～10頁

駒ヶ嶺裕子（講師）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 1. ひきこもり支援に関する一考察	単著	2020年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第20号 12～19頁
2. 秋田県鹿角市の学校制服リユース活動の福祉的効果の検証	単著	2019年9月	『地域学』第15巻（弘前学院大学地域総合文化研究所）47～64頁
【口頭発表】 1. 学校制服・学用品リユース活動の福祉的効果の検証	単独	2019年10月	一般社団法人宮城県社会福祉士会主催『第25回社会福祉士東北研修大会』
2. ひきこもり支援の一考察—秋田県A市の困難を有する若者等に関する調査結果から—	単独	2019年10月	青森県医師会主催『第28回青森県長寿研究会』（青森市民ホール）
3. A県B市の学校制服リユース活動の福祉的効果の検証	共同	2019年9月	日本社会福祉学会 第67回秋季大会
4. 精神障害の当事者と支援者が考える自立と達成要因の相違の一考察	単独	2019年7月	日本社会福祉学会 東北部会 第19回 研究大会

高橋 和幸 (教授)

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
<b>【学術論文】</b> 1. 地域内の社会資源を有効活用し低予算で実現する除雪ボランティアの事例検討 ー市町村内において担い手を確保し活動を継続していけるよう特に工夫がみられる6つの取組よりー	単著	2020年3月	『弘前学院大学社会福祉学部紀要』第20号25～40頁
2. 東北地方の除雪ボランティア活動実態と公的支援の特徴 ー豪雪地域全国4ブロックでの比較を通じてー	共著	2020年3月	『弘前学院大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学研究』第8号9～42頁 * 高橋和幸、吉岡利忠
<b>【口頭発表】</b> 1. 地域資源を有効活用し低予算で実現する除雪ボランティアの事例研究 ー6つの取組に注目して	単独	2019年7月	日本社会福祉学会『東北部会第19回大会』(岩手県立大学)
2. 東北地方の除雪ボランティア活動状況と公的支援の実施状況の特徴に関する検討報告	単独	2019年7月	東北社会学会『第66回大会』(東北大学)
3. 特別支援学校生徒による除雪ボランティアの取組に関する事例検討	共同	2019年10月	青森県医師会主催『第28回青森県長寿研究会』(青森市民ホール) * 高橋和幸、吉岡利忠

藤岡 真之 (准教授)

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
<b>【学術論文】</b> 社会的ミッションをもったクラフトビールブルワリー ーオレゴン州ポートランドの事例からー	共著	2020年3月	立教大学社会学部『応用社会学研究』第62号、149-162頁

丸山 龍太 (講師)

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
<b>【口頭発表】</b> 1. A県B市の学校制服リユース活動の福祉的効果の検証	共同	2019年9月	日本社会福祉学会第67回秋季大会
2. X大学社会福祉学部20年の経過における卒業生の高齢者分野就職志向に関する分析	共同	2019年10月	青森県医師会主催『第28回青森県長寿研究会』(青森市民ホール)